

Funehiki High School News vol.127

～がんばる船高生～ **ATTENTION!** 第7回 文書デザイン検定1級に合格した皆さん

昨年12月3日に行われた「文書デザイン検定試験」(日本情報処理検定協会主催)で、本校2年生5人が第1級に合格しました。情報処理を学ぶ生徒は、年度内の合格を目指して、週5回授業を受けます。この検定は7月、10月、12月、翌年2月に行われていますが、12月の試験で第1級に合格したのは彼らが初めてです。試験では、文書作成ソフトウェア「Microsoft Word」を用いて、与えられた文章や画像で1ページの課題を30分以内に作成しました。

今年2月、合格証書が協会から届き、証書を伝達する際、5人に率直な感想を聞きました。

●安田瑞季さん(大越中出身)

授業の模擬テストでは時間内に課題を作成できなかったのが、不安もありました。合格できてうれしいです。

●箭内夏希さん(船引中出身)

試験本番はとても緊張して、課題を作成し終えたのも時間ギリギリでした。合格できてホッとしています。

●本田滉さん(常葉中出身)

授業で学習した成果を出せたので、スムーズに課題をクリアできました。この資格を将来に生かしていきたいです。

●田村尚生さん(常葉中出身)

授業でも課題を作成してきたので、落ち着いて試験課題に向き合えました。今後は情報処理技能検定を取りたいです。

●渡邊達次さん(移中出身)

課題はすごく難しかったです。第1級試験を受けるのは早いかなとも思いましたが、合格できてよかったと思います。



▲左から本田さん、箭内さん、田村さん、安田さん、渡邊さん

◆地域を取材した結果を発表

vol.122と124で紹介した「地域復興～船高アクティブリーダー育成プロジェクト」。都路地区の復興のために頑張っている人々を生徒が取材し、意見を交換して、活動を通して感じたことを発表する取り組みです。

1月27日、「子どもたちがふみだす 福島復興体験応援事業 成果発表会」が「とうほう・みんなの文化センター」(福島市)で行われ、本校アクティブリーダーの生徒たちが、活動の成果を堂々と発表しました。

発表に携わった赤石沢響さん(1年 都路中出身)は「私は都路に住んでいますが、地域の皆さんがこんなに頑張っていることを、この活動を通して初めて知りました。私もこれから、地域のために頑張りたいと思いました」と述べました。

この活動にご協力いただきました全ての方々に、心より感謝申し上げます。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<http://www.funehiki-h.fks.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp



麺、その多様性

John Brandt
ジョン・ブランドンさん
(アメリカ合衆国
ミズーリ州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	57

日本生活が1年を過ぎ、ようやく日本の食事が当たり前になっていく中で、日本食の多様性が大好きな自分に気付きました。カツ丼は大好きな食べ物ですが、それはアメリカの大学時代にお金をかけないで作っていた料理と似ているからです。日本のカレーライスも大好き。アメリカのカレーよりずっとおいしいですよ。

でも、日本のお馴染みの食べ物で、僕が変わることなく大好きなものがあります。麺類です。

今や麺類は、アメリカ人にとって慣れない食べ物ではなくなりました。多くの大学生が希望を持って勉強に励む時、お金がない中でもおなかを満たすために、カップ麺を大量に買います。僕も大学時代はカップ麺をたくさん食べました。それに比べて、日本のラーメンはずっとずっとおいしいですね。でも、日本で大好きになった麺は、ラーメンだけではありません。日本には人間の食欲を満たしてくれる多様な麺があります。ここで取り上げたいのは、うどん、蕎麦、ラーメンの3つです。

まずはうどんから。僕がうどんの中で一番好きなのはカレーうどんです。すでに述べたように日本のカレーが大好きなので、うどんつゆの代わりにうどんにカレーをかければ最高のうどんになるのは必然。おそらく麺が太いので、一本一本にカレーが絡まって、ひとくちごとに大きな満足感を与えてくれるのでしょう。

次に蕎麦です。僕は日本に来るまで蕎麦を食べたことがなかったので、僕と蕎麦の出会いはすばらしいものでした。冷たい蕎麦をつゆに浸して食べる、その風味とのごとし。でも、食べ終わって

から蕎麦の大好きなところ。蕎麦湯をつゆの残りに注ぎ、飲み物として味わいます。アメリカ人はそれが美味しいのか不思議に思うかもしれませんが、僕にとっては蕎麦を食べる時の大好きなひとときです。

最後がラーメンです。とにかく、スープとトッピングの種類が多いことに尽きます。醤油、味噌、豚骨...そして僕が大好きなカレー味もあるスープ!そして、さまざまな種類のトッピングが、ラーメンを豪華な食事に変えてくれるのです。

これらの麺はそれぞれ違いますが、僕たちはその違いを楽しみます。これは人間にも当てはまります。人にもそれぞれ違いがあって、その違いは恐れたり嫌がったりするのではなく、称賛すべきもの。いろいろな種類の麺を食するように、全ての人がそれぞれの違いを楽しむべきだと思います。その違いこそが、人間だけに特別に与えられたものでははいでしょうか。

